

通常観察の内視鏡検査時における 抗血小板薬や抗凝固薬の取り扱いについて

抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドラインにより、基礎疾患を考慮し抗血小板薬や抗凝固薬を使用したまま生検を実施することに致しました。

◆抗血小板薬 原則休薬不要

- ・アスピリン・パナルジン・プラビックス・プレタールなど
- ・抗血小板薬は内視鏡検査当日の朝から内服を中止し、検査終了後に服用してください。
- ・休薬による血栓塞栓症のリスクが低い患者さまには、アスピリンは3～5日間、チエノピリジン誘導体(パナルジン、プラビックス)は5～7日間休薬して検査することも可能ですが、休薬期間は貴院で指示してください。

◆直接経口抗凝固薬DOAC

- ・プラザキサ・リクシアナ・イグザレルト・エリキュース(4製品、2022年6月現在)
 - ・DOACは内視鏡検査当日の朝から内服を中止し、検査終了後に服用してください。
- ただし、生検をした場合は当院医師の指示で服用を再開してください。

◆ワーファリン 休薬しない(休薬による血栓塞栓症が重篤なものになりやすいため)

- ・3日前～内視鏡検査当日のPT-INRの結果が必要になります。
 - ・貴院で検査ができない場合、内視鏡検査当日に当院でPT-INRを施行することも可能ですが、1時間前の来院が必要になります。
- PT-INR2.5以上 → 生検不可(下記のいずれかで対応)
- A 観察のみ
- B 内視鏡検査の予約取り直し(処方量を減量して再検査)
- ・ワーファリンは内視鏡検査当日の朝から内服を中止し、検査終了後に服用してください。

◆抗血小板薬と抗凝固薬を2剤以上服用している場合

ガイドラインでの具体的な方針の記載がなく、当院では下記のいずれかで対応を行っております。
ワーファリンは休薬により血栓のリスクが高くなるため、休薬はすすめられておりません。

①2剤とも休薬しない

- ・出血のリスクが増える可能性があることを説明し、内視鏡検査当日の朝から2剤とも内服を中止し、検査終了後に服用してください。
- ・ただし、DOAC服用者へ生検をした場合は、当院医師の指示で服用を再開してください。
- ・ワーファリン服用者は、3日前～内視鏡検査当日のPT-INRの結果が必要になります。

②抗血小板薬のみ休薬

- ・アスピリンは3～5日間、チエノピリジン誘導体(パナルジン、プラビックス)は5～7日間休薬して検査することも可能ですが、休薬期間は貴院で指示してください。
- ・DOACは内視鏡検査当日の朝から内服を中止し、検査終了後に服用してください。
- ・ただし、生検をした場合は当院医師の指示で服用を再開してください。
- ・ワーファリン服用者は、3日前～内視鏡検査当日のPT-INRの結果が必要になります。
- ・ワーファリンは内視鏡検査当日の朝から内服を中止し、検査終了後に服用してください。

③生検せず、観察のみ

内視鏡検査を予約される患者さまへ、下記の説明をお願い致します。

1. 生検時に出血の可能性があります。
2. 生検後出血が目立つ場合は、止血剤をすることや、クリップなどの止血術を施行することがあります。
3. 場合によっては入院が必要になることがあります。

※抗血小板薬や抗凝固薬を使用していない時でも、生検時に出血する可能性はあります。

内視鏡検査について、ご不明点やご要望がありましたら診療情報提供書にご記載いただくか、地域医療連携室(TEL:072-229-9232)までご連絡ください。